

IAUD Newsletter Vol.4 第12号 (2011年11月号) 目次

1. 特集：「第4回国際UD会議 2012」が福岡市開催で決定・・・1
2. 活動報告：余暇UDPJ「キッズデザイン展 2011」出展・・・2
3. IAUD 12月の予定・・・4

特集：「第4回国際UD会議 2012」開催決定 ～福岡市での開催地決定記者会見の報告



高島市長（写真左）と山本会長

「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012」（主催：IAUD）が2012年10月12日（金）から14日（日）の3日間、福岡市の福岡国際会議場と福岡国際センターで開催することが決定した。九州では初の開催。開催地決定を報告する記者会見が去る11月15日（月）に福岡市役所で開催され、山本卓眞 IAUD 会長も登壇した。

会場には地元メディア約 15 社が出席する中、高島宗一郎市長が福岡での開催を報告。「国際会議の開催を契機に、ユニバーサルシティ福岡のまちづくりを実現したい」と誘致した理由を説明した。その後、山本会長が国際会議の基本計画を説明した。今回は東日本大震災を踏まえて、「安心・安全～ユニヴァーサルデザインの基本を考える～」を基本テーマに、公開シンポジウムや論文発表、展示会を開催する。山本会長は『安心・安全』という UD の底流にある基本概念をもう一度捉え直して、社会生活全般に渡る総点検を行なわなくてはならない」と述べた。さらに、「UD を日本からアジアに発信する意味も踏まえ、アジアの玄関口である福岡市に決定した」と開催地決定の理由を述べた。今回は3日間で、アジアや欧米など世界約 30 カ国から延べ 12000 人の参加を見込んでいる。

※国際会議の詳細は、近々開設される国際 UD 会議公式サイトにて告知いたします。

誰もがテレビCMを楽しめるために 活動報告：余暇 UDPJ「キッズデザイン展 2011」出展



余暇の UDPJ が取り組んでいる『冊子「テレビコマーシャルにも字幕を」による活動』が受賞した「第5回キッズデザイン賞」の受賞作品を展示した「キッズデザイン展 2011」(主催:キッズデザイン協議会)が、10月8日(土)から10月10日(祝/月)の3日間、イオンレイクタウン kaze3F「イオンホール」(埼玉県越谷市)で開催された。出展した同PJの山田淳司氏に、展示会の様子を報告してもらった。

親子で UD の意味を考える契機に



「第5回キッズデザイン賞」表彰状

余暇の UDPJ は 2006 年度から、テレビ CM に情報保障としての字幕付与をめざした啓発活動をしています。

その一環として、字幕の有効性や現状を子供たちにも知ってもらう啓発冊子「テレビコマーシャルにも字幕を」を作成し、聴覚特別支援学校の一部に配布してきました。

この啓発活動は、子どもの会話の現状をリサーチし、CM と字幕という社会課題に光を当てた独自性と、親子で UD の意味を考える契機になると評価され、「第5回キッズデザイン賞」のキッズ・コンシューマーサポート部門を受賞しました。

キッズデザイン賞とは、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」「子どもたちを産み育てやすいデザイン」の3つの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。

「第5回キッズデザイン賞」に関しては以下のサイトをご参照ください↓

<http://www.kidsdesign.jp/>

実際に見て触れて、キッズデザインを体感



「キッズデザイン展 2011」は、「第 5 回キッズデザイン賞」受賞作品を社会に向けて展示発表することで、産官学民がデザインの力を通じて生み出した、子どもたちのための成果を産業界および生活者に直接訴求し、産業・研究活動と子供環境の高度化を図ることを目的としています。

国内最大級のショッピングモール内にある会場には、303 点の応募作品から受賞した 181 点のうち、58 作品 49 ブースが設置され、買い物途中の家族連れなど、3 日間で、約 1200 人が来場しました。

かわいらしいものや色彩豊かな展示に囲まれ、多数の子どもたちが実際に触ったり、遊んだりしていました。

また、ワークショップ「子どもたちのためのインテリアレッスン」や企業によるプレゼンテーションも同時に行われました。

子どもに冊子を配布してアピール



IAUD 展示コーナー

IAUD が受賞した『冊子「テレビコマーシャルにも字幕を」による啓発活動』は、「自立した消費者を育てるデザイン」コーナーに設置されました。

同 PJ は、これまでの啓発活動を説明したパネルと、冊子「テレビコマーシャルへも字幕を」の縮小版を展示。この冊子は来場者に自由に持ち帰ってもらいました。子ども連れの方が多かったので、絶好の普及の機会になりました。

また、IAUD パンフレットも同時に設置し、IAUD の活動も合わせて広報しました。

キッズデザイン展に参加して

応募番号：11003667
冊子「テレビコマーシャルにも字幕を」による啓発活動

制作動機
テレビコマーシャルは、日々さまざまな情報を伝えています。しかし、耳が聞こえないと内容が分からず「友達との話題に入れない」子どももいます。みんなと一緒に笑うためにはどうしたらいいの？ 私たちは、この冊子を考えるきっかけにしたいと思い、制作しました。

冊子イメージ

- 表紙
テレビコマーシャルにも字幕を
- 前半のストーリー部
子どもにも読みやすいように、漢字へのルビや色覚にも配慮するなどのアクセシビリティを取り入れながらテンポよく読める「絵本」形式にしました。
- 後半の解説部

特長

- 親しみやすくわかりやすく
子どもに親しみやすいオリジナルのキャラクターを制作
- 親子で理解できるように
CMに字幕がない理由や放送環境を説明した親御さん向けの解説部を制作
- ニーズ調査を実施
障害種別が異なる親や聴覚障害者の家庭に配布して反響やニーズを調査

読者の感想

- 親御さんの感想
「我が子は字幕がなければ見ることができないけど、字幕をつけています。子供は人の顔を見て、言葉の意味を自分で理解しようと努力しているのを見て、感動しています。」(女性/聴覚)
- 子どもの感想
「CMで漢字を覚えることができて、字幕があると勉強が楽しくなる。」(12歳/女の子/聴覚障がい児)

啓発の成果
このような取り組みにより、2010年より一部メーカーで、CM字幕を放送する動きが出てきました。

「キッズデザイン展 2011」では多くの企業の取り組みが見られ、非常に勉強になりました。余暇の UDPJ も、また機会があればこのような審査へチャレンジしてみたいと思います。2011年7月に地デジ放送が本格的に開始され、字幕も一般的な情報保障として認知されてきました。今後、コマーシャルにも字幕が当たり前のように付く日が来ることを私たちは心から願っています。(丁)

展示したパネル

IAUD 12月の予定

- 1日(木) 15時～メディアのUDPJ定例会 (IAUDサロン)
- 6日(火) 13時～衣のUDPJ「東日本大震災被災障害者の方々の現状を学ぶ講演会」(東京都立産業技術センター墨田支所)
- 8日(木) 14時～食のUDPJ定例会 (IAUDサロン)
- 9日(金) 13時～標準化研究WG「人間中心設計ガイドラインの勉強会」(産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター)

メンバー募集中の研究部会・委員会はこちらにリンクしてください↓

<http://www.iaud.net/news-f/archives/1106/21-114818.php>

次号は12月発行予定

特集(予定)：韓国の国際UD学術祭での川原専務理事講演報告 他

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話：03-5541-5846 FAX：03-5541-5847 e-mail：salon@iaud.net